

区の評価及び意見について

【此花区】(受託者:一般財団法人大阪市コミュニティ協会)

1 地域活動協議会の状況についての分析(年度当初)

項目	受託者の分析に対する評価及び意見
(1)「Ⅰ 地域課題への取組」についての分析 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組 (イメージ)	的確に状況を分析できている。対策の方向性としても問題ない。
(2)「Ⅱ つながりの拡充」についての分析	的確に状況を分析できている。対策の方向性としても問題ない。
(3)「Ⅲ 組織運営」についての分析	的確に状況を分析できている。対策の方向性としても問題ない。
(4)「Ⅳ 区独自取組」についての分析 (区が「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)」において設定したもの)	的確に状況を分析できている。対策の方向性としても問題ない。

2 事業の実施内容(支援策(取組)の内容)

項目	提案内容に対する評価及び意見
「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)」 (1)「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の提案内容	①井戸端会議やグループワークの開催が3地域に留まっている。今後、必要な地域においては、これらの手法を活用させる事で、地域課題の洗い出しが進み取組へとつながるよう支援を実施されたい。 ②ラウンドテーブル、井戸端会議など、ファシリテーション手法を使った場づくりの参加者が、各地域でも実践する事により、地域課題に対する具体策が議論される事を期待したい。 ③アンケート手法による効果検証などPDCAによる事業サイクルの確立を支援されたい。 ④プロボノの活用については、企業のアイデアなどを地域活動に活用できる機会として昨年度に1地域活用されたが、今年度においてもプロボノが活用され新たな取組が実施されることを期待したい。 ⑤これまでも民間助成金の活用などを紹介されてきたが、今後も、クラウドファンディングの活用など、行政の補助金等に頼ることなく、自律的な地域運営ができる仕組みの構築に向けて支援されたい。また、ビジネス手法で地域課題の解決を図るための事業化(CB・SB化)についても支援されたい。 ⑥会計担当者や総務担当者が他地域と情報共有することにより、自身の地域活動の向上につながるよう支援されたい。
(2)「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の提案内容	①9月以降開催が予定されているラウンドテーブルでは、地域活動協議会の構成団体以外とのつながりをテーマに開催するとしており、ネットワークの広がりを期待したい。 ②地域間での交流や情報交換を促進するとともに、実施事業に幅広い世代が参加できるよう支援を期待したい。 ③部会運営へのアイデア出し、情報提供、ワークショップの支援などを期待したい。 ④会計担当者、広報担当者などの人材育成をはじめ、PCスキルを持った人材の発掘など引き続き支援をお願いしたい。 ⑤紙媒体による広報とともに、インターネットを活用した広報についても支援されたい。 ⑥アンケート等により地域ニーズを把握し、年度計画に反映させ、若年層の参加率を上げるなど効果的に実施されたい。 ⑦企業・テーマ型NPO等とのマッチングの他、地元企業や商店の地域活動協議会への参画についても支援されたい。
(3)「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の提案内容	①日常的な会計事務や予算・決算事務が地域住民自身で行えるよう支援されたい。組織運営について、情報発信にかかる支援、定期的な会議の開催など開かれた組織となるよう支援されたい。
(4)「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の提案内容 <small>(区が「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)」において設定したもの)</small>	①防災の取り組みにかかる支援については、近隣地域と合同した訓練の実施・区内一斉防災訓練の実施に向けて地域支援されたい。 ②広報の強化にかかる支援については、地域活動協議会の認知度向上のみならず、多様な広報活動により、実施事業への参加者の向上に向けた支援をされたい。

3 事業の実施体制等

項目	提案内容に対する評価及び意見
(1)自由提案による地域支援の提案内容 (企画提案書(事業計画書)等で受託者が提案したもの)	①プロボノを活用しての地域課題解決については、企業のノウハウを地域活動に取り入れる手法としては有効である。 ②コミュニティアンケート調査については、対象が1000世帯と多く、結果が今後の事業に活用されるよう期待したい。
(2-1)スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる提案内容	地域からの相談や問い合わせに適切に対応できており、体制に問題ない。
(2-2)フォロー(バックアップ)体制等にかかる提案内容	新規事業等で増員が必要な場合も、適切に対応できている。地域からの問い合わせも、常に対応できるよう連携がされている。
(3)区のマネジメントに対応した取組にかかる提案内容	区のマネジメントに対応した提案として、適切な事業提案ができています。

4 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策(取組)(5つ以内)

支援策(取組)名称	支援策(取組)に対する評価及び意見
担い手の確保・育成	①担い手確保に向けてアンケート調査を実施した事は、地域役員の現状を把握し、課題を分析する事によって、次の活動へつなげられる事から有効である。 ②③井戸端会議の開催については、情報共有・つながりづくり・ファシリテーター力の向上のためには有効である。今後、ファシリテーションの手法による地域運営が活用されるよう人材育成にも期待したい。 ※担い手の確保・育成については、地域運営を継続していくうえで急務の課題であり、重点的に取り組む課題として適当である。今後は、地縁団体のみならず、企業・NPOやボランティア団体など多様な活動団体が連携することによって、地域経営の担い手となる新たな人材が発掘されるよう期待する。
防災力の向上	①他区の先進事例の見学会については、地域防災担当の意識の向上とスキルの向上に向けては有効であった。 ②津波避難訓練や自主防災組織による避難所開設訓練の実施が遅れている地域については、行政との連携協力が図られている。引き続き区と連携して支援をお願いしたい。 ※本区の独自取組として【防災力の強化】を掲げており、重点的に取り組む課題として適当である。その中にある、近隣地域と合同した訓練の実施・区内一斉防災訓練の実施に向けても尽力いただきたい。
広報の強化	①②③まちづくりセンター広報紙、Facebook等、情報コーナーでは、地域の催し・イベントの広報が頻繁にされており、評価できる。 ④此花区まちづくりセンターとして独自のホームページの公開について、地域情報の発信・地域役員の支援として活用される事を期待する。 ⑤地域活動協議会のリーフレットの配布については、地域活動協議会の認知度向上に向けた取り組みとして評価できる。 ※本区の独自取組として【広報の強化】を掲げており、重点的に取り組む課題として適当である。地域活動協議会の認知度向上に向けては、区がモニターアンケートで設定する目標値が達成できるよう種々の広報活動が効果的に活用されるよう期待する。

5 現時点での支援の実施状況

項目	評価及び意見
(1)現時点での支援の実施状況 (目標の進捗状況)	<p>○現時点での実施状況 地域活動協議会役員からの信頼関係の中で、概ね順調に進捗していると考え。</p> <p>○今年度の目標の進捗状況とそれに対する自己評価</p> <p>①担い手の確保や育成 ファシリテーションの手法やプロボノの活用によって、各団体の持つ課題について共有し新たな担い手の確保につながったことは評価できる。 受託者が蓄積する多方面とのネットワークによって、地域活動協議会の事業拡大につながったことは評価できる。</p> <p>②防災力の向上 訓練の実施が遅れていた地域について、行政と連携し実施に至った事は評価できる。 他区の先進事例見学会については、地域防災担当の意識の向上とスキルの向上に向けては有効であった。</p> <p>③広報の強化 広報紙の発行については、PCスキルを持つ担当者がいないといった地域課題に対して適切な支援が来ている事は評価できる。今後は定期的な発行に向けての支援を期待したい。 まちづくりセンターの広報活動については、新たな広報ツールを模索しながら、効果的に広報活動ができてきている事は高く評価できる。</p>
(2)上記を受けた、年度後半の支援についての考え	<p>①担い手の確保や育成 地域活動の担い手の高齢化に対して、次世代に引き継いでいく事は急務の課題である。その中で、開催が予定されている井戸端会議「コノハナのハナシ」は、地域活動協議会以外で活動する団体等とのネットワーク拡充を図るとりくみとして期待したい。また、事務勉強会の開催・先進事例の見学会など、引き続きあらゆる方面から模索し、担い手となる人材の確保ができるよう支援されたい。</p> <p>②防災力の向上 隣接する地域との合同訓練などあらゆる可能性を想定した訓練が実施できるよう支援されたい。また、防災関連データの見える化については作成をお願いしたい。</p> <p>③広報の強化 地域活動協議会の存在・活動の認知度向上に向けて取組を進められたい。また、此花区民の無作為1000世帯へのコミュニティアンケート調査結果については、地域の次年度以降の取組にフィードバックしていただきたい。</p>